学校番号	１００７

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
講座名	保健（１年）						
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な観点から健康に対しての理解を深め、自分自身の人生を豊かにする実践力を身につけよう。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

２　学習の到達目標

・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。
・生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を身につける。
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。 様々な保健活動や、環境問題について学習を深め、積極的に実習に取り組めている。	環境問題や保健活動など個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	環境問題や保健活動など、健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	・ワークシート ・課題提出物の内容 ・小テストによる授業内容の理解度 ・授業への取り組みの姿勢 等	・課題提出物の内容 ・小テストによる授業内容の理解度 ・定期テスト ・ワークシート ・ディスカッション等の事例を用いた活動 ・実習 等	・課題提出物の内容 ・小テストによる授業内容の理解度 ・定期テスト ・ワークシート ・ディスカッション等の事例を用いた活動 ・実習 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1ターム	現代社会と健康	**健康の考え方** ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり **健康の保持増進と疾病の予防** ・生活習慣病とその予防 ・食事と健康	○		○	a:「健康」とは何かについて主体的に考え、積極的に学習活動に取り組もうとする。 b: 「健康」について学んだことを基に、新たな問題や解決策を考えることができる。 c:「健康」について、理解したことを整理して、具体的に説明できる。	・課題提出物の内容 ・小テストによる授業内容の理解度 ・授業への取り組みの姿勢
2ーム	現代社会と健康	・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・現代の感染症		○	○	a:自分自身と社会全体の心身の健康を考え、主体的に学習活動に取り組もうとする。 b: 薬物乱用が個人及び周囲の人々、社会にも影響があることを知り、自身でできる薬物乱用への対策について考えることができる。 c:生活習慣と疾病の関わり、様々な要因と感染症について理解し、説明できる。	・課題提出物の内容 ・小テストによる授業内容の理解度 ・授業への取り組みの姿勢
3ーム	現代社会と健康	・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 **精神の健康** ・欲求と適応機制 ・心身の相関とストレス ・ストレスへの対処 ・心の健康と自己実現	○		○	a:心身相関やストレスについてや心と体の関係性について考え、学習に取り組んでいるか。 b:心と体の関連について考え、自身の考えを発表したり整理したりすることができる。 c:心と体の働きが相互に影響しあう関係やストレスの心理・社会的要因と物理的要因について説明・記述することができる。	・課題提出物の内容 ・小テストによる授業内容の理解度 ・授業への取り組みの姿勢
4ターム	現代社会と健康	**交通安全** ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当と意義とその基本 ・心配蘇生法(実習含む) ・日常的な応急手当	○		○	a:生命を尊重する態度や責任感を持ち、実習や学習に取り組めているか。 b:交通事故の現状を踏まえ調べたことを基に課題を見つけたり、整理したりすることができる。 c:応急手当や心肺蘇生法について理解し、記述や実践することができる。	・課題提出物の内容 ・小テストによる授業内容の理解度 ・授業への取り組みの姿勢

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c: 知識･理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。